

宮上中 家庭学習のアドバイス

1・2年

—こんな内容・方法で—

国語

- ◆ はっきりと声に出して教科書を読みましょう。繰り返して読むことが大切です。
- ◆ 漢字は何回も書いて、確実に覚えるようにしましょう。
- ◆ 漢字の意味が分からない語句は、国語辞典で調べて確かめておきましょう。
- ◆ 積極的に本や新聞を読んで、様々な物の見方、考え方を知り、また知識を得て、視野を広げましょう。また、自分の感じたこと考えたことを記録してみましょう。

社会

- ◆ 新聞やテレビで話題になっていることを、自分でも考えてみる習慣をつけましょう。
- ◆ 教科書を繰り返し読んで、内容の理解に努めるようにしましょう。
- ◆ ノートやプリントを振り返るようにしましょう。また、副教材の問題にくり返し取り組みましょう。

数学

- ◆ 学習したことを、ノートに工夫してまとめ、家庭学習時に見直ししましょう。
- ◆ その日の授業で取り組んだ例題や練習問題を、やり直しましょう。特に、一度解いた問題で間違えたものを中心に解き直しを行い、復習しましょう。
- ◆ 教科書に載っている文章題と同じ種類の問題を、ワークなどを使って解いてみましょう。

理科

- ◆ その日にやった範囲の教科書のページを声を出して3回読みましょう。
- ◆ その日の授業で学習したことをまとめて整理したりするなど、ノート作りを工夫しましょう。
- ◆ 図やグラフなどの資料を見ながら、なぜそうなるのかを考えるようにしましょう。
- ◆ テレビや新聞などで、科学に関することに疑問や関心をもって調べてみましょう。

英語

- ◆ 新出語（句）と基本文は、声に出しながら繰り返し書きましょう。また、授業で学んだ文法はその日のうちに復習しましょう。
- ◆ 教科書で習った本文は、まず、声に出して読んでみましょう。読めたら、その意味を日本語で書いて、今度はその日本語の文を見ながら英文を書けるまで練習しましょう。
- ◆ CDなどで英文を何度も聞いて、聞き取る力を付けましょう。また、CDの後について読み、正しい発音と話す力を身に付けましょう。
- ◆ ワーク等の問題集を解いて丸つけをした後や小テスト等で、間違えた問題は必ずできるようになるまでリトライしましょう。

宮上中 家庭学習のアドバイス

—こんな内容・方法で—

3年生

- ◇ 得意な教科は、問題集などでどんどん進めましょう。
- ◇ 苦手な教科は、分かるところまでさかのぼってやってみよう。
- ◇ 先生から、自分に合った学習方法をアドバイスしてもらいましょう。

学習計画を長期的・短期的に立てましょう。

- テストの平均点や順位に振り回されず、目標を見据えて勉強に取り組みましょう。
 - 学校の授業を一時間一時間大切にしましょう。
 - これだけは毎日やるという短期的な学習計画をたてましょう。
 - ・国語の漢字や言葉、英語の単語や文型などは、繰り返し書いたり声に出したりして覚えましょう。
 - ・数学の計算や文章題は、似たような問題を問題集などで解いてみましょう。
 - ・社会や理科では、大切な言葉をさがしてキーワードとしてまとめておきましょう。
 - 長期的な学習計画も立てましょう。
 - ・定期考査や模擬試験、入試に向けての応用力をつける学習を行いましょう。
- (例 10月までは英語なら長文読解など、11月になったら入試問題の過去問に取り組みましょう。)

テスト日をめやすにして、スケジュールを管理しましょう

- 定期テストや教科の小テストなど、いつ、何があるのかをカレンダーに書き込んでおきましょう。
- テスト範囲とテスト日までの日数を数えて、その日に何を勉強するのも書き込んでおきましょう。
- スケジュールをもとに計画的に学習に取り組めたら、カレンダーにチェックを入れましょう。
- 学校説明会や学校見学もしっかりカレンダーにチェックしておきましょう。
- 体調管理も本番に合わせて整えておきましょう。

本番は体も心もベストコンディションで迎えましょう！